

9月の注目公演

文：笹田和人

掲載している公演の最新情報は、それぞれの主催者のホームページなどでご確認ください。

神奈川フィルの名手による室内楽シリーズ《名曲の午後》第15回「ベートーヴェンの『幽霊』」

9/3(金)14:00 フィリアホール

神奈川フィルのソロ・コンサートマスター嶋谷直人、チェロの名手で指揮者としても活躍する鈴木秀美、ピアノの草冬香が、第2楽章の幻想的な楽想から「幽霊」の愛称を持つベートーヴェン中期の傑作、ピアノ三重奏曲第5番を披露。弦のメンバーにヴァイオリン桜田悟とヴィオラ高野香子に加わっての弦楽四重奏曲第2番、嶋谷と草による楽聖の先人・モーツァルトのヴァイオリン・ソナタ第22番を併せて味わう。



嶋谷直人 ©S.IMURA

東京コンサーツ presents
齊藤一也 ピアノリサイタル

9/7(火)19:00 トーキョーコンサーツ・ラボ

東京藝大卒業後に渡欧、パリ国立高等音楽院とベルリン芸大に学んだ齊藤一也が完全帰国し、研鑽の成果を披露。バッハ「イタリア協奏曲」、シューベルト「即興曲第3番」op.142、ラヴェル「水の戯れ」、一柳慧「雲の錦」、リスト「巡礼の年」からの2曲とレパートリーは幅広い。また、「幻想ポロネーズ」ほかショパン、「小犬のワルツ」による即興曲も。若き才能が迸る。



©Takumi Jun

北村朋幹(ピアノ) ジョン・ケージ

9/19(日)15:00
所沢市民文化センター ミュース マーキーホール

鮮烈なる響きが、空間を満たす。繊細かつ知的なプレイで、奥深く多層的な音楽を構築し、若くして「鬼才」と称されるピアニスト、北村朋幹。今回は、創意にあふれた実験的な作風で、やはり「鬼才」と呼ばれたジョン・ケージの「プリバード・ピアノ(弦に様々な素材を挟み込んで音色などを変える手法)のためのソナタとインターリュード」全曲に挑む。ステージに先立ち、音楽評論家の白石美雪によるプレトークも。



©TAKA MAYUMI

軽井沢国際音楽祭 2021
Happy Music Hour

9/4(土) ~ 9/6(月) 軽井沢大賀ホール 他

クラリネットの横川晴児が音楽監督を務める音楽祭が、コロナ禍による“休符”を経て再スタート。ヴァイオリン小林美恵ら名手によるシューベルト「八重奏曲」やハイドン、ストラヴィンス



軽井沢国際音楽祭フェスティバル・オーケストラ 横川晴児

キーの弦楽四重奏曲を味わう「室内楽コンサート」(9/4)で幕開け。コンサートマスター近藤薫がリードするフェスティバル・オーケストラは、メンデルスゾーン「スコットランド」ほかを(9/5)。そして、多彩な表情で魅せるジャズの調べで締め括る(9/6)。

ブエノスアイレスの四季 橋森ゆう希(ヴァイオリン)
ドミトリー・フェイギン(チェロ) 赤松林太郎(ピアノ)

9/19(日)13:30 18:00 紀尾井町サロンホール

アルゼンチン民衆の魂を投影したタンゴへ革命をもたらし、生誕100年を迎えたアストル・ピアソラ。ヴァイオリンの橋森ゆう希、チェロのドミトリー・フェイギン、ピアノ赤松林太郎という、精鋭的な活動を展開する国際派の名手3人が、人間の喜怒哀楽を活写した「ブエノスアイレスの四季」をはじめ、「ル・グラン・タンゴ」「天使の死」などの傑作を通じて、官能的で情熱あふれる音楽の真髄へと斬り込んでゆく。



左より:橋森ゆう希/ドミトリー・フェイギン/赤松林太郎

松岡 淳 ピアノリサイタル
「ピアノの交響楽」Vol.2

9/22(水)19:00 東京文化会館(小)

“たった一人のシンフォニー”を織り上げるのは、確かな技巧と美しい音色、そして複雑なスコアを読み解く洞察力だ。東京藝大・同大学院からハンガリー国立リスト音楽院に学び、1999年にブラームス国際音楽コンクールを制した実力派ピアニスト、松岡淳が取り組む、リスト編曲によるベートーヴェンの交響曲シリーズ。今回は第7番を、やはり楽聖のソナタ第28番、ラヴェル「ラ・ヴァルス」と併せて披露する。



コンサート
チャラニー

New Release
Selection

新譜情報

Books

今月の
注目公演

5SPAL

海外公演情報